



滝田医院ニュース

022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院 第23号
電話0192(29)3108 内科(循環器・消化器・呼吸器)

日本内科学会認定総合内科専門医・日本循環器学会認定循環器専門医 滝田 有(たきた たもつ)

<http://takita.webmedipr.jp/> 発行日 2010(平成22)年9月16日

定期受診の患者さん、予約をお勧めします。

目次:

予約の勧め	1面
インフルエンザ予防接種	1面
全員に異常な影??	2面
待合室の絵	2面
光の道はいつ来るの?	2面

当院では高血圧、脂質異常症、糖尿病、気管支喘息など定期的な診療が必要な患者さんには予約をお勧めしています。大多数の患者さんは予約をして頂いています。最初は抵抗があった患者さんも慣れるにつれて予約制の良さを分かってくさるよう、評判は急上昇です。一番の利点は待ち時間が少なくなることです。今までも予約外の患者さんで混み合ったときも予約の患者さんは最大限1時間半の待ち時間で済みました。利点の二番目はクスリがなくなったことにあわてなくて済むことです。処方日数に合わせて予約日を決めますのでクスリの無駄も生じません。三番目はたとえ予約日が臨時休診になっても当院から電話連絡が入り、予約日を変更してもらえます。

予約をしない患者さんはこれらの利点の裏

返し欠点があります。待ち時間は混みあうときは3時間以上になりました。またある日急にクスリがなくなったことにきづいて慌てて受診する場合があります。そして折角来たのに当院は臨時休診だった、こんなケースが一杯あります。

更に、当院は医師一人、看護師二人、事務二人、看護補助一人の計6名のスタッフです。混み合うときの事を考えれば、必要最小限の人数です。予約外の患者さんが増えるほどスタッフの負担も増えるとお考え下さい。ご協力を宜しく願います。

もちろん、急病や臨時受診は予約不要です。



百日紅

臨時休診のお知らせ

今のところ9月、10月は臨時休診はありません。ただし医師の急用で臨時休診となる場合もあります。

予約以外の方で、当院に来ようと思ったら、まずケータイサイトをチェックしてください。予約日が臨時休診となる場合、予約患者さんには当院から連絡していますのでご安心下さい。

インフルエンザ予防接種について。

猛暑が過ぎたと思ったら急に秋めいてきました。まだ気が早いようですが、インフルエンザ予防接種についてお知らせします。今シーズンは、従来のA、B型といわゆる「新型」(これもA型)が一つに合わさった(3価と表現します。)注射です。

また今回は価格や接種回数は国が決めるそうです。詳細は10月にならないと決定しない模様です。しかし昨シーズンとは違い数は充分足りています。あわてなくとも大丈夫です。

当院では、定期受診をしている患者さんで希望される方の分の数は確保しています。また以前当院で接種したことのあるお子さんも大丈夫です。今回新規の方は、お子さんはご希望に極力応じますが、大人の新規の方はお断りすることもあります。

予約は10月になって国の方針が決まってから受け付ける予定です。ただし、定期受診で2ヶ月処方の方だけには(次回受診が11月となるので)先行予約をしております。ご了承下さい。

ちなみにインフルエンザと並行して「肺炎球菌ワクチン」の接種も有効です。肺炎のかかなりの部分を予防できます。1回肺炎になった方、或いは慢性の呼吸器の病氣(肺気腫、喘息など)の方にはお勧めです。肺炎球菌ワクチンは一回7000円です。やや高いのですが1回接種すれば効果は5~7年持続します。当院でも既に10人くらいの方が接種されています。

滝田医院
携帯サイト

携帯電話からも病院の情報をご覧いただけます。



何と！全員に陰影が？？(この影は正常ですよ！)



一人ひとりに説明するのも、医者としては疲れるものです。
この影は「正常」です。

当院ではレントゲン写真を撮ったときは診察室で患者さんと一緒に見ながら、所見を説明することになっています。そんな時に「異常所見はありません。」と言うと写真を見て怪訝な顔をする患者さんが少なくありません。その理由は、左の赤い矢印が指し示している部分を「悪いもの(癌)ではないか？」と言う患者さんが多いようです。
この陰影は「胃泡」といいます。ドイツ語ではMagenBlase (マーゲンブラゼ)。胃の上にたまっている空気が写ったものです。
決して異常所見ではありません。
ご安心下さい。

待合室の雰囲気が変わった！（絵を変えてみました。）

意外と気づかない患者さんが多いようですが、当院待合室に飾ってある絵を変えてみました。右の写真をご覧ください。

開業以来7年半、院長恩師の佐々木忠和先生に描いていただきました大作「三陸春色」を飾っていましたが、今回気分を変えようと思

ちました。右側は同じ佐々木先生による細浦港の情景です。左の絵は患者さんの村上求さんの力作です。今までと違う雰囲気をお楽しみ下さい。今後も絵を随時張り替えていくつもりです。お楽しみに。

*なお近日中にテレビも地デジ化する予定です。アンテナ線と直結しますので鮮明な画像が楽しめます。



大きな絵(上の写真)から2枚の絵(下の写真)に変えてみました。違う雰囲気になったと思いませんか？

末崎は真っ暗のまま。

去る5月、東海新報が末崎町域での光ファイバー網の整備の遅れ、市内での格差問題を取り上げて記事にしてくれました。当院の事情も記事の通りです。

しかし大船渡市は重い腰を上げてくれません。NTTが採算重視になるのは当然です。光をNTTで通してくれないのなら、総務省に申請して補助金を貰う方法もあります。現に越喜来はその方式で敷設が決定しました。末崎町民にも目覚めて欲しいと思います。「おら、インターネットなんて関係ねえ」と思っている人もいるかもしれません。市内ではいまだに人口の多い行政区域である末崎町ですが、蔑ろにされています。腹が立ちませんか？各行政区の重要性は、人口で

(いつ来るのやら、光の道)

決まるのではないようです。ひょっとして市議員の数で決まっているのでしょうか？また「ADSLも時間がかかった。今回の光もずっと先だろう」と思っている人もいます。黙っては何も進みません。NTTのホームページで光に加入したいかどうか意向調査をしています。パソコンをやっている人は是非末崎の電話番号で登録してください。これは署名のようなものです。わたしも県内の全ての医療機関に光が行き渡るように県医師会にお願いするつもりです。

もし現状のまま、将来にわたり光ファイバーの敷設が望めないのであれば、当院も末崎町外への移転を真剣に考えざるを得ません。